

授業科目名： 工業科教育法Ⅱ	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2 単位	担当教員名 八 田 豊
科 目	教職に関する科目（教育の基礎理論に関する科目）		
各科目に含めることが 必要な事項	・ 各教科の指導法		
授業の到達目標及びテーマ			
・ 我が国の高度成長をもたらしてきた工業教育の意義や工業教育改革の変遷、及び個に応じた学習指導の在り方など学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程編成等を理解し、今後の工業教育の在り方を知る。 ・ 工業教育の役割と目標を理解し、工業科教員に必要な教育観や品格を身につける。 ・ 工業科教員としての専門的知識だけではなく、「ものづくり教育」をベースとした技術指導及び技術指導者としての心構えの必要性を認識させる。			
授業の概要			
工業の先端技術化、高度化が急速に進展している今、団塊の世代の大量退職に伴い、産業界では日本の将来を担う若手技術者の育成が緊急的課題となっている。 とりわけ、世界で高い評価を受けてきた高品質・高精度の製品を生みだしてきた高度熟練技術者が減少し、各方面から「日本の工業技術の原点はものづくり」との声が上がっている。その意味でも、ものづくり教育を掲げている工業高校の役割は極めて大きなものがある。 本講座では、我が国の工業教育の歩みと成果、工業科設置の理念や中央教育審議会答申に基づくこれまでの工業教育改革、学習指導要領の目標等を踏まえた教育課程編成等を解説する。 また、工業科教員として、座学や実験・実習等の授業展開方法だけでなく、豊かな人間性と教育への意欲・情熱・使命感、旺盛な研究心と実践力が如何に必要なかを理解させる。			
授業計画			
第1回：技術（産業）教育の発展 第2回：現代の技術（職業と技術、工業教育の必要性） 第3回：学校と主要な教育関係法規（教育基本法、学校教育法、教特法、地公法等） 第4回：工業教育の目標・意義・内容 第5回：学習指導要領の意義と変遷（法的拘束力、内容の変遷） 第6回：教育改革と工業科教育（学制発布、旧教育基本法制定、中央教育審議会答申等） 第7回：我が国の工業科教育（日・米・英・独の工業教育の特徴） 第8回：工業科の教育課程（教育課程編成に関する法制） 第9回：学習指導計画の実施（指導計画、学習指導） 第10回：研究授業の実際Ⅰ（学習指導案の作成と実際：DVD） 第11回：研究授業の実際Ⅱ（学習指導案の作成と実際：DVD） 第12回：工業高校における学級経営と進路指導・生徒指導 第13回：地域社会（地場企業等）に根ざした工業教育の在り方 第14回：教師の研修・研究（教員研修、教育公務員としての研修） 第15回：21世紀に期待される工業科教員 定期試験			
テキスト			
毎回、授業計画に示す関係資料を準備し講義を行う。			
参考書・参考資料等			
特に指定しない（必要に応じ適宜紹介する）。			
学生に対する評価			
・ 出席状況（授業中のミニレポートで出席確認） ・ 授業中の学びの姿勢 ・ 定期試験			